

令和7年度 第9回 直江津区地域協議会

次 第

日時：令和7年12月9日（火）午後6時30分～

会場：レインボーセンター 3階 第三会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

【自主的な審議】

・福島城に関することについて

4 そ の 他

・次回地域協議会（案）

令和8年1月20日（火）午後6時30分～ レインボーセンター

5 閉 会

福島城に関する意見交換を受けて

<文化行政課の回答概要>

- ・福島城址は文化財には指定されていない。（周知の埋蔵文化財包蔵地）
- ・福島城址を「地域の宝」に認定しているため、財政的な支援はないが、保存・活用に必要な助言、周知、団体相互の連携の支援という点で関わっていく。
- ・資料等の寄贈について、ジオラマは大きいため保管は難しいが、その他資料の保管については相談の余地がある。
- ・ジオラマは史実に忠実でないため教育委員会としては展示はできない。過去に地域活動の紹介ということで市施設に一時展示が行われたことはある。
- ・主体となる熱意ある団体等がなければ残っていかない。市はその活動の下支えをする立ち位置。

<地域協議会委員の意見等>

- ・観光や地域教育という切り口での活用方法はないか。
- ・旧古城小学校を活用できないか。
- ・誰がどのように担っていけるかまで踏み込む必要がある。
- ・団体の高齢化問題はどこも同じ。残すためには福島城を愛する会で後継者を探すほかない。
- ・直江津祇園祭の歴史を語る上で必要なもの。地域のことを次の代にしっかり伝えるのも今の代の役目。



観光や教育にいかすにしても

主体となる団体の存在が必要

■ワークショップ

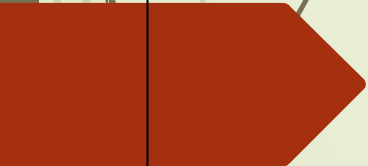
①福島城の地域にとっての価値、重要性

＜前回協議会での意見＞

- ・直江津祇園祭の歴史を語る上でなくてはならない。
- ・観光につなげてはどうか。
- ・地元は関心がない。
- ・残したいという熱意がなければ残らない。
- ・文化財としての価値が低いのであれば、残していかなくてもいいのではないか。
- ・福島城を愛する会で後継者を探すよりほかない。
- ・地域協議会がなぜ取り組むか、どうしていくべきかというところから考えたい。 など

③誰が伝えていくのか（主体・協力団体）

②どのように（展示・活動方法など）



令和7年度第9回直江津区地域協議会 ワークショップ
「地域協議会が考える福島城の重要性について」

福島城関連資料の有効活用と 福島城を愛する会の今後について

2025.12.09

直江津区地域協議会 会長 磯田 一裕



■「これまでの堂々巡りの議論に一定の方針と実効性を伴う結論を導き出すためのワークショップ」

- 01 地域協議会の役割の再確認
- 02 自主的審議「福島城について」の経緯
- 03 本日のWSの進め方
- 04 会長私案をたたき台に
- 05 2班に分かれてWS

■1-1 地域協議会の役割について

地域自治区

地域協議会

地域住民から選ばれた委員で構成され、次の活動を行います。

●諮問に対する答申

区内の公の施設の設置や廃止、管理のあり方など、市長から意見を聞かれた案件（諮問）について話し合い、その結果を市長に返します（答申）。

●自主的な審議

地域の課題解決・活性化について話し合い、話し合っ出てきた解決策や活性化策の実現に向けて、必要に応じて地域の団体などと連携し、また、市長に意見として伝えます。

委員として
参加

相談・
意見交換

連携

地域住民・団体



事務局として活動をサポート

地域自治区の事務所

（総合事務所、まちづくりセンター）

市長

諮問

答申

意見書の提出



■1-2 直江津区における「地域活性化の方向性」

●令和5年3月22日第14回地域協議会にて示された基本形は

- ・ ①作成目的
 - ・ 地域協議会と市の認識の共有を図るため
 - ・ 市の取組の企画の参考とさせていただくため
- ・ ②内容（下記を検討し、地域をどのようにしたいのか（方向性）を考える）
 - ・ 様々な分野（地域資源、産業、観光、自然、風土など）の中から、各区の個性や特性を活かすことで地域の活性化につながるもの
 - ・ 地域の課題解消や現在の状態をさらに良くすることで、地域の活性化につながるもの
- ・ ③キャッチフレーズと構成要素 形式でまとめる

●キャッチフレーズの検討

- ・ 今まで直江津のあまたの計画の中でキャッチフレーズやスローガンが作られている。
- ・ 本当にそれを実現する強い思いが行政にはあるのか？今ここで言葉遊びのようなキャッチフレーズを作るのは虚しさしか感じない。
- ・ 昔の計画の目指すべき直江津像を再検証して、その中から選定してはどうか？

●構成要素の検討

- ・ 頸城区のように具体的事業をピックアップしてしまうのか？
- ・ そこからもれた「まちづくり事業」は地域活性化の方向性とは違う事になってしまう。
- ・ これから8～10年のまちづくり目標としては個別具体の事業を構成要素とはせず、もう少し大きなくくり（分野別）で構成要素を示し、それに即した喫緊の事業を地域独自予算として事業提案すべきと考える。

■1-3 構成要素を7次総との連携で考える

7次総の5つの基本目標を直江津にあてはめて、事業を考える。



■1-4 支え合い、生き生きと暮らせるまち・直江津

基本目標

1

支え合い、生き生きと暮らせるまち 直江津

1 こころと体の健康の増進

取組内容

- 健康づくり活動の推進
- こころの健康サポートの推進
- 公衆衛生環境の向上

主な成果指標

肥満傾向にある児童（小学校5年生）の割合

13.4% ▶ 12.0%以下
(R4) (R12)



2 地域医療体制の充実

取組内容

- 上越地域医療センター病院の機能拡充
- 地域医療ネットワークの充実

主な成果指標

人口10万人当たりの看護職員数（常勤換算）

1,385.6人 ▶ 1,385.6人
(R2) (R12)



■労災病院閉院問題



3 高齢者福祉の推進

取組内容

- 介護予防の推進
- 生きがいの推進・出番の創出
- 最適な高齢者福祉サービスの提供

主な成果指標

65歳以上の要介護認定率（調整済）

20.8% ▶ 20.6%以下
(H29-R1平均) (R12)



■生涯教育

■いこいの家

■公民館活動

■市民団体主催の事業等



基本目標1 支え合い、生き生きと暮らせるまち

4 障害者福祉の推進

取組内容

- 障害福祉サービスの充実
- 社会参画の促進

主な成果指標

福祉事業所就労における平均月額工賃

15,750円 ▶ 19,874円
(R3) (R12)



■オレンジプロジェクト



5 複合的な課題を抱える世帯への支援

取組内容

- 相談支援体制の強化
- 自立へ向けた支援の充実

主な成果指標

複合的な課題を抱える世帯への支援に不満を感じていない割合

78.9% ▶ 83.0%
(R4) (R12)



■ふあみりりの活動
■フードロス対策



■1-5 安心安全、快適で開かれたまち・直江津

基本目標

2

安心安全、快適で開かれたまち **直江津**

基本目標2 安心安全、快適で開かれたまち

1 災害への対応力の強化

取組内容

- 危機管理能力の向上
- 自然災害への対応力の強化
- 原子力災害への対応力の強化

主な成果指標

3年以内に要支援者に関する訓練を実施した自主防災組織数

17 組織 (R3) ▶ 177 組織 (R12)



2 災害に強い都市構造の構築

取組内容

- 地震に強い都市構造の構築
- 治山治水対策の推進
- 災害に強い住環境の構築

主な成果指標

水道基幹管路耐震適

38.4% (R3) ▶



■木造密集危険度5エリアの住環境の構築

3 地域防災力の維持・向上

取組内容

- 防災意識の向上
- 自主防災活動の推進

主な成果指標

市が実施する防災士養成講座での資格取得者数(延べ人数)

844人 (R3) ▶ 1,294人 (R12)

■町内会と防災組織の連携
■津波などの防災訓練

4 消防体制の整備

取組内容

- 常備消防体制の整備
- 消防団活動の推進

主な成果指標

出火率(人口1万人当たりの火災件数)

2.85件 (R3) ▶ 2.49件以下 (R12)



5 防犯・交通安全対策の推進

取組内容

- 多様化・巧妙化する犯罪への対応
- 地域防犯力の向上
- 防犯・交通安全意識の向上

主な成果指標

交通事故発生件数

202件 (R3) ▶ 141件以下 (R12)



6 快適な生活環境の保全

取組内容

- ごみの適正処理の推進
- 公害対策の推進
- 生活排水処理対策の推進

主な成果指標

汚水衛生処理率 88.0% (R3) ▶ 93.7% (R12)



■海岸ごみ対策
■天王川クリーン活動
■道路側溝整備

7 都市空間の整備・充実

取組内容

- 施設の長寿命化の推進
- 効率・効果的なインフラ整備
- 良好な景観・安らぎある都市空間の創出

主な成果指標

市道橋の点検 121橋 (R3) ▶



■雁木通りの整備
■景観づくり

8 土地利用政策の推進

取組内容

- 適正な規制と誘導の推進
- 持続可能な都市構造の構築

主な成果指標

空き家情報バンクの成約件数(累計)

54件 (R3) ▶ 162件 (R12)



9 交通ネットワークの確立

取組内容

- 利用しやすい地域交通の確保
- 広域交通網との連結強化
- 冬期間の交通網の確保

主な成果指標

■バスに変わる市民の足 (R4) (R12)



10 自然環境の保全

取組内容

- 生物多様性の保全
- 環境に配慮した事業活動の推進

主な成果指標

■五智公園えお市民いこの森に
■まちなか公園整備



11 地球環境への負荷が少ない社会の形成

取組内容

- ごみの減量とリサイクルの推進
- 省エネルギー化の推進
- 再生可能エネルギーの普及
- 環境学習と保全活動の推進

主な成果指標

市域における温室効果ガスの年間排出量

1,801千t-CO₂ (H30) ▶ 1,020千t-CO₂以下 (R12)



■環境啓蒙、実践

■直江津ならではの再エネは？

→ 海岸通り沿いに小型風力発電街灯で、エコリゾート景観づくり



1-6 誰もが活躍できるまち・直江津

基本目標

3

誰もが活躍できるまち 直江津

1 人権・多様性の尊重

取組内容

- 人権・非核平和の推進
- 多文化共生の推進
- ユニバーサルデザインの推進

主な成果指標

- 教育現場との連携
- 親と子の〇〇講座
- 青少年育成会議との協働



2 男女共同参画の推進

取組内容

- 男女共同参画意識の向上
- 女性活躍・女性参画の促進
- 相談支援体制の充実

- 地域協議会や各種団体でのクウォーター制の導入

5 地域協議会
17 各種団体



3 若者が活躍できる環境づくり

取組内容

- 生活支援の充実
- 交流機会の創出

主な成果指標

今後も上越市に住み続けたいと感じている 20代・30代の割合

64.9% ▶ 75.0%
(R4) (R12)

4 生活支援
17 交流機会

- 地域自治での役割とインセンティブの検討
- 後継者づくり
- 若者にある程度任せる
- 共助の町
- 団体同士の交流の機会創出

4 コミュニティの充実

取組内容

- 地域を担う人材育成
- 地域自治の推進
- 地域コミュニティ活動の活性化

主な成果指標

地域おこし協
40.0%
(R3)

4 地域おこし協
11 地域自治

- 地域自治組織の検討



5 多様な市民活動の促進

取組内容

- 市民活動の支援
- 市民参画と連携・協働の推進

主な成果指標

地域活動や市民活動に参加している市民の割合

40.8% ▶ 50.0%
(R4) (R12)

11 市民活動
17 市民参画



6 つながりの創出・拡大

取組内容

- 支え合い体制の強化
- 関わりの創出・拡大
- 移住定住の推進

主な成果指標

- 三八朝市の活性化
- 来訪者との交流拡大
- 直江津と中山間地との支え合い



■1-7 魅力と活力があふれるまち・直江津

基本目標

4

魅力と活力があふれるまち 直江津

1 地域に根付く産業の活性化

取組内容

- 工業の活性化
- 商業の活性化
- 中小企業・小規模企業の振興

主な成果指標

DX認定企業数（累計）

0社 (R3) ▶ 11社 (R12)

8 8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

直江津の未来を築く新しい産業づくり

働く手ではなく働く頭を地域に根付かせる取組

建築、アート、プロダクトなどの「デザインの街」づくり

2 企業立地・物流拠点化の推進

取組内容

- 企業立地の推進
- 直江津港の拠点性の強化

主な成果指標

工業用地の分譲面積（延べ面積）

315.8ha (R3) ▶ 351.8ha (R12)

7 8 9 17

7 8 9 17

7 8 9 17

7 8 9 17

7 8 9 17

7 8 9 17

7 8 9 17

7 8 9 17

7 8 9 17

7 8 9 17

7 8 9 17

7 8 9 17

7 8 9 17

7 8 9 17

7 8 9 17

7 8 9 17

7 8 9 17

7 8 9 17

7 8 9 17

7 8 9 17

7 8 9 17

7 8 9 17

7 8 9 17

4 雇用機会の拡大と就労支援

取組内容

- 地元企業の認知度向上
- 雇用環境の向上
- 職業能力の習得・向上

主な成果指標

ハッピー・パートナー登録企業数（累計）

69社 (R3) ▶ 160社 (R12)

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

5 観光振興の強化

取組内容

- 当市ならではの観光地域づくり
- 広域交通網をいかした広域周遊観光の推進
- 市内の回遊性の向上

主な成果指標

観光消費額

10,500百万円 (R1-R3 平均) ▶ 25,400百万円 (R12)

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

8 9 17

6 デジタルプロモーションの推進

取組内容

- 市内外に向けた情報・魅力発信の推進
- 各種コンベンション等の誘致

■観光のターゲットを上越に仕事に来ているビジネスマンやその家族にターゲットを絞る

■「うみがたり」から直江津でもうひとつ！

■楽しめるまち・直江津

■直江津の海、海浜公園、うみがたりのさらなる活用

- 祇園祭を観光の視点で検討
- 鉄道の街・直江津をどう作る
- D51レールパーク、鉄道博物館の検討
- ライオン像のある館と三八朝市
- 佐渡汽船ターミナルの利活用
- 福島城資料の発信
- 五智エリアの歴史観光の強化
- 三ノ輪台をフェスキャンのメッカに

7 農業の振興

取組内容

- 担い手の確保・育成
- 生産基盤の強化・充実
- 農業の収益性の向上

主な成果指標

新規就農者数

26人 (R3) ▶ 380人 (R3-R12 累計)

2 8 11 17

2 8 11 17

2 8 11 17

2 8 11 17

2 8 11 17

2 8 11 17

2 8 11 17

2 8 11 17

2 8 11 17

2 8 11 17

2 8 11 17

2 8 11 17

2 8 11 17

2 8 11 17

2 8 11 17

2 8 11 17

2 8 11 17

2 8 11 17

2 8 11 17

2 8 11 17

2 8 11 17

2 8 11 17

2 8 11 17

2 8 11 17

2 8 11 17

2 8 11 17

8 林業・水産業の振興

取組内容

- 担い手の確保・育成
- 森林・水産資源の保全・活用
- 林業・水産業の収益性の向上

主な成果指標

林業・水産業従事者数

林業：57人 (R3) ▶ 林業：66人 (R12)

水産業：214人 (R2) ▶ 水産業：214人 (R12)

6 8 9 13

6 8 9 13

6 8 9 13

6 8 9 13

6 8 9 13

6 8 9 13

6 8 9 13

6 8 9 13

6 8 9 13

9 農林水産業の価値と魅力向上

取組内容

- 魅力ある地域資源の有効活用
- 食育・地産地消の推進
- 喜びと生きがいを感じられる生産活動の推進

主な成果指標

農林水産物等を返礼品として選択したふるさと納税額の金額

0円 (R3) ▶ 350,000千円 (R12)

2 4 5 8

2 4 5 8

2 4 5 8

2 4 5 8

2 4 5 8

2 4 5 8

2 4 5 8

2 4 5 8

2 4 5 8

2 4 5 8

■1-8 次代を担うひとを育むまち・直江津

基本目標

5

次代を担うひとを育むまち 直江津

1 切れ目のない子育て支援

取組内容

- 母子保健の充実
- 子育て家庭への経済的支援
- 子どもの育ち支援の充実

主な成果指標

出産や子育てがしやすいと感じる市民の割合

61.3% ▶ 70.0%

(R4)

(R12)

2

3

4

16

17



■ふあみりりの活動



2 子育て環境の充実

取組内容

- 保育園等の充実
- 多様な保育サービスの提供

主な成果指標

放課後児童クラブを利用する保護者の満足度

— ▶ 85.0%

(R4 から新規実施)

(R12)

2

4

5

8

17



3 主体的な学びを支える学校教育の充実

取組内容

- 学力向上の推進
- 特色ある学校教育の推進

主な成果指標

授業がわくわくする(楽しい、分かる、おもしろい)と感じる児童・生徒の割合

— ▶ 75.0%

(R4 から新規実施)

■総合的学習の地域教育

■学校運営協議会や青少年育成会議との連携



4 教育環境の充実

取組内容

- 全ての子どもの学びの保障
- 学校の適正配置・学びの環境の整備

主な成果指標

学校が楽しいと感じる児童・生徒の割合

小学校6年生: 88.8%

中学校3年生: 80.9%

(R3)

全国平均値以上

かつ R8 実績値以上

(R12)

4

17



5 多様な学びの推進

取組内容

- 多様な学習機会の充実
- 多様な学習活動の推進

主な成果指標

公民館が行う講座を受講したことにより、地域づくりに向けて行動する意欲が高まった受講者の割合

64.4%

(R3)

70.0%

(R12)

4

17



6 スポーツの振興

取組内容

- スポーツ活動の充実
- スポーツ環境の充実

主な成果指標

1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施している人の割合

34.2%

(R3)

45.0%

(R12)

3

4

17



7 文化活動の振興

取組内容

- 歴史・文化的資源の保存と活用
- 文化・芸能活動の推進

主な成果指標

地域の歴史や伝統が継承されていると感じている市民の割合

55.5%

(R4)

60.0%

(R12)

■土蔵や町家の価値ある建築物を調査

■歴史的建造物を活かしたまちづくり

■祇園祭の維持、継承、発展



1-9 直江津区協議会での「自主的審議の方向性」

直江津区「地域活性化の方向性」

キャッチフレーズ

2023.07.19正副会長会議 検討資料

人とひと、人とまちをつなぎ、住み働く人が
輝き、訪れる人を魅了するまち「なおえつ」

構成要素を7次総の5つの基本目標とし、直江津区の課題や取り組むべき事業を整理する。

| | 構成要素 | 課題 キーワード | 取組の整理 | 事業提案 | 優先 順位 | 関係団体 | |
|---|---------------------|---|--|--|--|--|---|
| 1 | 支え合い生き生きと暮らせるまち・直江津 | ②地域医療体制の充実 ③④⑤高齢者福祉、障害者福祉及び複合的な課題を抱える世帯への支援 ◆生涯教育、公民館活動 ◆市民団体主催の事業 | ■この問題を地域協議会がどの様にコミット出来るか？ ■直江津区の自主的審議案件として議論するか？ ■この課題を自主的審議で十分議論した事は無い。 ■今までの支援事業の延長から、どのように生き生き暮らせるまち直江津を作るか？ □各種講座や地域の茶の間事業への支援 | 自主的審議事項として協議すべき 市民団体の独自事業？ 各種講座や教室の開催と事業支援 | 堀田、田村 古澤委員 増田委員 D C | ◇オレンジサポート ◇ふあみりり ◇民生委員 ◇おひさまパントリー ◇社会福祉協議会 など | |
| 2 | 安心・安全快適で開かれたまち・直江津 | ②災害に強い都市構造の構築 ③地域防災力の維持・向上 ⑥快適な生活環境の保全 ⑦都市空間の整備、充実 ⑩地球環境への負荷が少ない社会の形成 ⑩自然環境の保全 | ◆まちなか居住推進 ◆町内会と防災組織との連携 ◆環境先進タウン直江津の実現 ◆直江津パークマネジメント | ■木造密集危険度5エリアの住環境整備→都市整備課との協議 ■避難所運営ゲーム、避難所体験、AED講習会 ■防災ボスター、AEDマップの作成 ■ハザードマップの活用～マイタイムライン作成勉強会 ■海岸ごみ清掃、不法投棄対策及び天王川クリーン活動 ■海岸ラインの整備、充実（E&S小型風力発電街灯でエコ×リゾート景観づくり、ベンチ設置、花壇の整備、草刈等） ■雁木通りの整備、街中回遊整備（水族館ロード等）、景観づくり ■五智公園を市民いこいの森に □まちなか公園整備 | 空き家の実態調査 直江津区自主防災組織事業 直江津地区美化運動事業 直江津ウォーターフロント・ルネサンス事業 安国寺通り都市計画道路、雁木補助金スキームの再検討 今後の検討→当面は市民団体の独自事業 | 増田委員 古澤委員 堀田、古澤委員 D D | ◆上越市との意見交換 ◇町内会長協議会 ◇上越防災七会直江津支 ◇直江津プライド2021 ◇青少年育成会議◇町内会 ◇上越フラインク ◇直中 ◆上越市との意見交換 ◇直江津プライド2021 ◇五智公園を育てる会 |
| 3 | 誰もが活躍できるまち・直江津 | ③若者が活躍できる環境づくり ④コミュニティの充実 ⑤多様な市民活動の促進 ⑥つながりの創出・拡大 | ◆交流の場づくり ◆地域自治の仕組づくり ◆関係人口の糸口は？ | ■地域自治での役割とインセンティブの検討 ■団体交流会開催支援 ■町内会、さまざまな団体での自地の有り方検討と後継者づくり ■若者がある程度任せ、其助のまち直江津をどう作るか？ ■市民活動団体の存続支援と連携 ■直江津のまちを考える活動 ■市民活動団体交流会開催とネットワーク化 ■三八朝市の活性化、直江津と中山間地との支え合い ■来訪者との交流拡大、関係人口の構築■各種イベント交流の促進 | 今後の検討 各イベントにおける関係人口拡大の仕掛けづくり 三八朝市、寒祭り祭り、四十物祭りなど | 増田委員 D | |
| 4 | 魅力と活力があふれるまち・直江津 | ⑤観光振興の強化 ⑥シティプロモーションの推進 | ◆楽しめるまち・直江津をどう作るか ◆直江津DMO組織を | ■海周辺、海岸通りの環境整備やリゾート感を創る事業 ■海浜公園の更なる活用（若者向けイベント会場） ■うみがたりへの来客を次の直江津観光へ（レンタサイクル、観光モデルコース、案内版、まちなか観光まちあるき等） ■屋台会館を観光インフォメーション・歴史文化紹介・物販飲食施設へ出来ないか ■祇園祭を観光の視点で検討 （可能な町内に屋台を戻して回遊スポットとする案など） ■ライオン像のある館と三八朝市の観光拠点化 ■鉄道博物館をどう作る？→D51レールパークの強化 ■福島城資料の佐渡汽船ターミナル展望室への移転検討 ■五智エリアの歴史観光の強化 ■三ノ輪台をフェスキャンプのメッカに！ ■直江津ならではのきめ細かな情報発信と戦略が必要 ■観光コンベンション協会との連携出来るか？ ・うみまちアート・直江津区を発信するパンフ等の作成 ・直江津を発信する館の設置（屋台会館でも良い） ・直江津写真コンテスト | 市への意見書提出と主体的な地域運営組織構築をめざすべきではないか？ →自主的審議の延長か？ 屋台会館の活用検討と三八朝市の活性化検討はR5年度の独自予算で直江津プライド2021が8月後半から実施。 →成果をR6年度の事業にどのように繋げるか？ | | ◇直江津プライド2021 ◇ひまわり会 ◆RMO組織づくり ◇福島城を愛する会 ◇五智公園を育てる会 ◆新しい団体づくり ◆新しい団体づくり |
| 5 | 次代を担うひとを育むまち・直江津 | ③主体的な学びを支える学校教育の充実 ⑥スポーツの振興 ⑦文化活動の振興 | ◆地域の魅力を学ぶ場づくり ◆部活動の地域支援 ◆歴史・文化的資産の保存と活用 ◆祇園祭の維持、継承、発展 | ■総合的学習の支援 ■学校運営協議会や青少年育成会議との連携 ■学校教育の充実と教員の負担軽減 ■職場体験の拡充 ■今のところ議論が進んでいない。 ■国府小は部活（課外活動を止めた） ■福島城の資料整備 ■歴史人物講座、歴史講演会等 ■歴史的建造物の維持保存活動 → 構成要素2へ ■屋台会館の有効活用（情報発信基地機能など） ■地域コミュニティ形成の核となる「祭り」による次世代育成 | ・地域学習支援(地域コーディネーター)事業 ・補助人員の派遣事業 教育委員会や地域全体での協議が必要 ・大学生、高校生の祇園祭への参加募集事業 | 堀田委員 竹田委員 久保田委員 | ◇直江津プライド2021 ◇青少年育成会議 ◇学校運営協議会 ◇三八協の新規事業 |

取組案の整理/事業抽出と優先度の検討

■2 自主的審議「福島城について」の経緯

○過去の審議状況

＜第3期＞

平成28年9月15日 仮設資料館視察、意見交換

＜第4期＞

令和3年10月23日 福島城資料館視察

令和5年1月20日 福島城を愛する会との意見交換(正副会長)

＜第5期＞

令和6年12月4日 福島城資料館視察

令和7年3月6日 福島城を愛する会との意見交換(正副会長)

令和7年8月19日 福島城を愛する会との意見交換(地域協議会内)

○地域活動支援事業活用状況

平成25年度～令和元年度(平成30年度は活用なし)

ジオラマ、パネル、案内看板、まちあるきマップ、発電機 など

合計補助額:8,123千円

■3 本日のワークショップの進め方

福島城

- ・ 福島城の地域にとっての価値、重要性の再確認
- ・ この自主的審議を進めるか否か？

10分

どうする

- ・ 塩漬けか陽の目を見せるか？
- ・ 展示場所はどこが良い？

20分

誰が

- ・ 愛する会では荷が重い
- ・ 伴走者が必要
- ・ だれがどのように活動（支えていくのか）

20分

まとめ

- ・ 各班発表
- ・ 全体合意形成

20分

■4-1 会長私案 はじめに

- ①直江津区地域協議会では長年「福島城を愛する会」が福島城顕彰事業として地域活動支援事業による提案を採択し、直江津区における必要なまちづくり活動として見守ってきた。
- ②協議会の自主的審議事項の中で、表題の議案について会との意見交換や資料館の視察等を行っており、地域協議会としても今後の福島城関連資料の有効活用と福島城を愛する会の行く末について、何らかの解決策を導き出したい思いです。
- ③しかし地域協議会は上越市長の諮問機関とまちづくりに関わる自主的審議の場であり、活動主体とはなれない一面もあり今後の方向性について私個人の考えをお示しし、委員の皆様と地域課題の解決に向けた**収束型ワークショップ**をさせていただきたいとの思いから提案する次第です。

■4-2 会長私案 現状認識

- ①現在の資料は旧古城小学校校舎内の一室を資料室として間借りしている状態だが、電気及びトイレなどの基本的インフラの使用ができない状態であり、また来館者数も少なく、一般観光来訪者は年に数名程度、おもな来館者は小学校などの総合学習での数組にすぎない。
- ②「福島城を愛する会」では会員の高齢化、組織の弱体化などから会の存続も検討議題に上っており、会の後継として町内会に打診したが良い返事はいただけていない。
- ③会の活動としては平成25年に発足。石碑周辺草刈等の美化整備と、福島城顕彰事業としてジオラマの製作や城址誘導案内看板、三城物語パネル製作、講演会等の二本立て。
- ④今年、地域協議会にて会の代表の方々と意見交換と「福島城資料について」今後、地域協議会が関わっていくとの方針を確認。

■4-3 会長私案 論点整理

- ① 現状の建物（旧古城小学校）の利活用の方針が明確に示されない中での資料館併設は展示施設としての必要最低限のインフラ整備もされておらず、ほぼ常時閉館状態であるとするれば「地域のお宝」の持ち腐れであり**早急に展示可能な代替施設を模索する必要がある。**
- ② 「福島城関連」については「直江津区地域活性化の方向性」に合致した自主的審議事項であり、福島城を愛する会とも地域協議会が参画していくと明言しており**一定程度の結論を出さずに議論を終結させるのはあまりにも無責任。**
- ③ 通年観光による交流人口、関係人口の拡大、上越市の観光コンテンツとして（春日山城-福島城-高田城の三城物語）の発信など上越市行政がより主体的に取り組むべき案件ではあるが**文化行政課が本腰ではない為、そこをブレイクスルーしていくのは困難。**

■4-4 会長私案 展示場所について・1

◆福島城関連資料に陽の目を当てる事が第一義であり、その可能性として二つの方向があるのではないか？

① 春日山城-福島城-高田城の三城物語として春日山の埋蔵物センターに資料を引き取ってもらい、三城物語の解説補完資料として活用してもらおう案。

- ・ 通年観光計画でも春日山城周辺の整備をうたっており、その流れの中で福島城にもスポットをあてる。
- ・ 埋蔵物センターの図書室は現在、書籍が少しあるだけで有効活用されているとは思えない。スペース的にもジオラマや集積資料等を置く事は出来ると思われる。



文化行政課との意見交換において、第一級の資料として行政施設内に常設展示はハードルが高い。

■4-5 会長私案 展示場所について・2

② 佐渡汽船ターミナルの5階展望室の南側一角に「福島城ガイドンス」としてジオラマと一部資料の展示を行う案。

- ・ 福島城址という場所が大事との視点から福島城址だけではなく、遠くは春日山城から高田城まで俯瞰できる場所に「福島城ガイドンス」を設けることで三城物語までも解説体感できる利点がある。
- ・ 南ガラス面に福島城址の形を貼り、その大きさやを体感していただける現地ならではの福島城紹介が可能でジオラマや他の資料と共に魅力あるガイドンスが可能。
- ・ 展示に伴う説明などはQRコードからのガイドンスなどを検討すれば管理者等は不要と考えており、県施設の有効活用策の一環としても一番可能性があると考えます。



県との協議はこれからだが、展望室への誘客も含めて可能性は高いと思われる。

■4-6 主体となる団体の存在

- ① 今後、地域独自予算や上越市との協働を視野に入れると、会が今の名称で存続することが望ましいが、運営メンバーの頑張りも期待できない状況であり、会の人材補強や後継として他の市民団体に事業継承をお願いするのは難しいのでは。
- ② 地域協議会でのまちづくりの議論を実行していく新たな住民組織の設立を模索していく必要があるのでは。



- ① まずは地域協議会委員が主体となって**RMO**的な「まちづくり組織」を有志で立ち上げてはどうか
- ② その団体が福島城を愛する会と協力して事業実施をしていく姿を想定